

## 輝け！シン尾花沢中

第171号

令和8年

1月27日

心ゆたかに たくましく 理想をうたう わが学園

## RS タイムが知の扉を開く～夢中になって学ぶ尾中生～

現在、本校では、火曜日から木曜日の 8:05～8:15 をリーディングスキルタイム (RS タイム) で、理科、社会、数学の内容を扱っています。

先週の木曜日、数学の RS タイムのときに、3年主任の児玉先生から「今日は『フェルマーの最終定理』を取り上げました」と報告を受け、数学教員として興奮を抑えられず、教室に見に行きました。

『フェルマーの最終定理』とは、フランスの数学者ピエール・ド・フェルマー (1607～1665) の「3以上の自然数 $n$ について、 $x^n + y^n = z^n$ となる自然数 $x$ 、 $y$ 、 $z$ は存在しない」という予想で、300年以上にわたって世界の数学者を悩ませてきた定理です。三平方の定理 $a^2 + b^2 = c^2$ の学習の最後に、教科書に掲載されています。

私が中高生の頃は証明が完成しておらず、ロマンをかきたてられるものの「自分には到底及ばないや」と思わざるを得ない別次元の定理でした。ところが、何人かの3年生は「 $x^n + y^n = z^n$ となる自然数 $x$ 、 $y$ 、 $z$ を探してみっべ」と、仲間と話していたそうです。

また、2年生の教室前を通過すると、複数の学級の生徒や先生から「校長先生！長方形は平行四辺形と言えますか、言えませんか」と呼び止められました。藤畑先生からの課題のようです。

急ぎよ、「平行四辺形の定義は『2組の対辺がそれぞれ平行な四角形』です。長方形を調べると、やはり2組の対辺が平行ですから、長方形と言えます」と説明したところです。

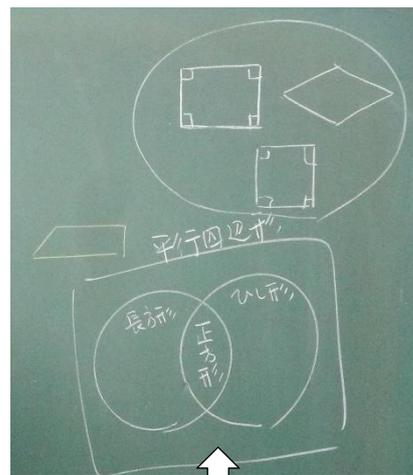
実は、授業ではまだ習っていない箇所のようにでしたが、生徒は「正答を知りたい！」と声をかけ質問してくれました。「習っていないから分からなくて当然だ」ではなく、現在持っている知識を総動員して課題を解決し、確かめようとする姿勢に感心したところです。

正に、学問の醍醐味を感じることでできる瞬間となったのではないのでしょうか。

RS タイムの内容や発問が生徒の学びに火をつけました。知の扉が開かれた瞬間に立ち会うことができ、とても幸せな気分で1日を過ごすことができました。 【文責：校長 工藤雅史】



3年2組の『フェルマーの最終定理』に向き合う様子です。1組、3組でも同様に学習しました。



2年教室の黒板にかいた説明図

